

# 国民スポーツ大会（SAGA2024）参加レポート

参加審判員：岡山県 市川航輔

広島県 岩村真斗

参加日程：2024/9/20～2024/9/23

## 大会テーマ

主審と副審の協力 ～最適なコミュニケーションについて～

<期待したい効果・結果>

主審が本当に求める副審の援助とは？副審が伝えなければならない情報とは？

効果的なフラッグアップのタイミング・場面とは

主審と副審の協力関係が周囲（選手・ベンチ役員・観客など）に有効な影響を及ぼす手法となる



## 大会スケジュール

日	ラウンド	キックオフ時刻	会場
9/20(金)	集合日		
9/21(土)	1回戦	① 10:00 ② 12:00 ③ 14:00	駅前不動産スタジアム 鳥栖スタジアム北部グ ラウンドA・B
9/22(日)	2回戦	① 10:00 ② 12:00 ③ 14:00	駅前不動産スタジアム 鳥栖スタジアム北部グ ラウンドA・B
9/23(月)	準々決勝	① 11:00 ② 13:00	鳥栖スタジアム北部グ ラウンドA・B
9/24(火)	準決勝	① 11:00 ② 13:00	駅前不動産スタジアム
9/25(水)	決勝・3位決定戦	① 11:00 ② 13:00	駅前不動産スタジアム

## 研修会

- ・事前研修会（9/3, 9/10）

ZOOM を用いて大会概要や事務連絡，J3 リーグの映像を用いた研修（主審と副審の協力）を行った。

- ・全体ミーティング（9/20）

大会前日に ZOOM を用いて，大会要項について改めて確認を行った。

- ・1日目振り返りミーティング（9/21）

ZOOM を用いて，初日に起きた事象（警告の人間違い）について参加審判員全員でディスカッションを行った。

- ・2日目振り返りミーティング（9/22）

前日も議論した事象について，映像を用いてディスカッションを行った。

## 担当試合（市川）と振り返りについて

### 大会1日目

大分県 vs 岐阜県 審判アセッサー：角山 勝洋さん

**主審：市川 航輔** 副審1：金丸 拓哉（佐賀）

副審2：森下 祐志（地域派遣） 第4の審判員：廣瀬 芳樹（地域派遣）

### 振り返り内容

- ・後半途中に連続で接触がある事象が続いたが，1つ目の事象は最初の判定通り，ノーファウルで良かった。2つ目の事象については副審2との協議でファウルにしたが，シンプルに次の事象を見る意識を持てば協議の必要なくファウルにできたので，その点を意識してほしい。
- ・ポジショニングと動きをより向上させる。
- ・FK マネジメントを改善してほしい。ファウルをしたチームの競技者が前に立つのをどう防ぐか。
- ・後半 AT に PA 外で大分が獲得した FK はノーファウルでも良かった。



### 大会2日目

広島県 vs 高知県 審判アセッサー：高山 啓義さん

主審：大内 隆（大阪） **副審1：市川 航輔**

副審2：林 大貴（地域派遣） 第4の審判員：佐賀 詔太（青森）

### 振り返り内容

- ・ゴールがずれていたのをアウトオブプレー時に主審に知らせていたのは良かった。
- ・オフサイド判定も違和感なく、良かった。

### 大会3日目

福岡県 vs 東京都 審判アセッサー：高山 啓義さん

**主審：市川 航輔** 副審1：永野 貴大（埼玉）

副審2：宮崎 扇空（愛媛） 第4の審判員：大島 空（地域派遣）

### 振り返り内容

- ・判定基準は良かった。46分の警告はサポート、70+1分の警告はファウルされた選手のベンチ前ということもあって、警告を出せたのは良かった。
- ・ADVはファウルした選手を注意するところまでがADVである。
- ・前半7分のバイタルエリアでのADVは直接フリーキックの方が良かった。得点の確率が高い方を選択すべき。
- ・マネジメントは試合全体を通して浮いてはいなかったが、マネジメントにかかる時間が長いと感じた。ショート・シンプル・クリアというマインドを心がけること。
- ・PK戦前の2人のGKに対する注意はもっと短くする必要がある。PK戦前のGKは集中力を高めているため、邪魔をしないようにする。
- ・後半のアドショナルタイムを4分→5分に伸ばしたのは良い手ではなかった。負傷者が出て対応に時間がかかったとはいえ、拮抗している試合で何かあった時に困る。問題がないときに打ち切るべき。
- ・動きとポジショニングに関してはポジショニングに関しては問題なかったが、初速を意識して最初の10m（もっと言えば最初の1歩目）をより速く力強く動くようにすべき。



## 担当試合（岩村）と振り返りについて

### 大会1日目

新潟県 vs 兵庫県 審判アセッサー：角山 勝洋さん

主審：永野 貴大（埼玉） **副審1：岩村 真斗**

副審2：廣瀬 芳樹（地域派遣） 第4の審判員：田中 維吹（地域派遣）

## 振り返り内容

- ・戻りオフサイドをきちんと取ることができていた.

## 大会 2 日目

埼玉県 vs 北海道 審判アセッサー：角山 勝洋さん

**主審：岩村 真斗** 副審 1：松原 寛人（地域派遣）

副審 2：相澤 一成（地域派遣） 第 4 の審判員：大島 空（地域派遣）

## 振り返り内容

- ・警告は良かった.
- ・笛が全部強い. もっと強弱を使い分けてみるといい. 事象に対して適した笛の強さで.
- ・飲水タイムでボードを使わせない.
- ・ボトルをピッチに投げ込ませない. ライン際で飲水させる.
- ・選手を復帰させる時はオフサイドラインがずれないように影響のない場所から復帰させる.
- ・KFPM の時の副審の位置を気にしたほうがいい.
- ・ピッチの真ん中でボールのそばにいたが多かったため, 幅を取って離れる.
- ・副審を見るタイミングを考えて, 旗を見落とすことがないように.



## 大会 3 日目

愛媛 vs 大分 審判アセッサー：蒲澤 淳一さん

**主審：岩村 真斗** 副審 1：金丸 拓哉（佐賀）

副審 2：佐賀 詔太（青森） 第 4 の審判員：山田 顕（地域派遣）

## 振り返り内容

- ・警告理由をもっと適したものにできるように判断材料をしっかりと集める.
- ・70 分ゲームならもっと走って欲しい.
- ・自分の定位置が決まっているように感じるため, 試合に応じて臨機応変なポジショニングを心がける.
- ・笛が鳴った後にボールを触る行為は程度に関係なく意図をしっかりと注意すべき.
- ・ホールドの反則が多くなってきた時にどうやめさせるのか考える必要がある.
- ・流すファウルとそうでないファウルを考える. ファウルを取ることでファウルをした選

手に注意することができる。



## 総括

### 市川

昨年の鹿児島国体と同様にサッカー少年男子の部に参加させていただきました。今大会も1回戦と準々決勝の主審、2回戦の副審を担当することができました。この1年中国地域で様々な経験を積ませていただいたため、前回大会よりも良いレフェリングが出来たと思います。ただ、今大会では今年1年間で指摘された課題が浮き彫りになったと考えており、上級を目指す上でまだまだ足りない部分が多いと感じました。

全国から各地域のトップレフェリーが集まっている貴重な機会だったため、他地域のレフェリーの試合を見ましたが、突き抜けていくために研鑽する必要があると強く感じました。今後も地域でより良いレフェリーになるために努力してまいります。

### 岩村

今大会は2回戦と準々決勝の主審を担当することができました。久しぶりの全国大会でいつも通りのレフェリングができるか不安でしたが、2試合とも何事もなく無事にゲームを終わらせることができました。70分ゲームだったため、出せる場面ではもっと積極的に走力を出しても良かったなと思いました。

この大会で試合がレフェリーに求めることというのを肌で感じ、その期待に応えるためにどうしたらいいかを掴むことができたと思います。地域の試合ではまた違った要素がレフェリーに求められるようになりますが、試合を客観的に捉えて、それぞれの試合にマッチした審判員になれるようにします。派遣していただきありがとうございました。

## 謝辞

この度は国民スポーツ大会（SAGA2024）に派遣していただきありがとうございました。今回の参加により多くの学びを得ることが出来ました。ここで得た学びを中国地域および日本サッカーの発展のために、活かしてまいります。

市川航輔  
岩村真斗

